

質問（一誠会・滝田一郎議員）  
平成28年国勢調査ベースによる将来推計人口7万7500人に向け、今後これを確実なものとするため、どのような具体的事業を展開していくのか伺います。

答弁（市長）  
将来人口の見通しについて  
は、平成19年3月の大田原市総合計画の策定に当たり、平成17年をピークに人口減少が続き、平成28年には7万7500人になると推計しています。その

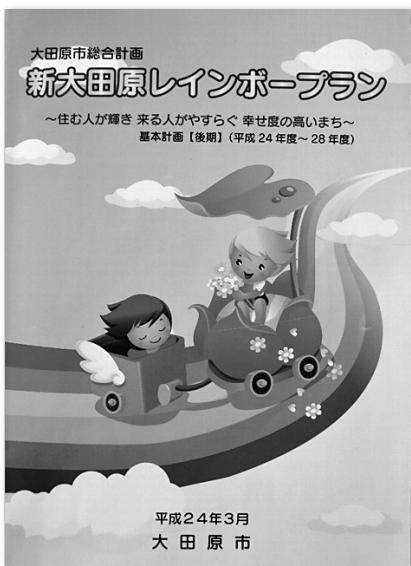
本市における人口は、毎年300人から400人程度人口が減少しています。この傾向に歯止めをかけるため、あらゆる分野にわたる総合的な対策が必要とされています。その

計を7万7500人としましました。

本市における人口は、毎年300人から400人程度人口が減少しています。この傾向に歯止めをかけるため、あらゆる分野にわたる総合的な対策が必要とされています。その

## 大田原市の人口について

### 一誠会 滝田一郎 議員



市長マニフェストを基本として重点課題を設定した大田原市総合計画

質問（一誠会・滝田一郎議員）

津久井市長の所信として述べられた、大田原市総合計画をもとに、たくさんの幸せ感を感じられる協働のまちづくりについて、平成24年度の重点課題として実践した特筆すべき成果について伺います。

答弁（市長）

新大田原レインボープラン後期計画に基づき、市長マニフェストを基本とした重点課題を設定し、住みよいまちづくり、たくさんのがんの幸運感が感じられる協

となります。

その中で特に力を入れているのが、子育て支援施策と産業振興施策です。具体的に子育て支援においては、保育サーサイズの事業の拡大、放課後児童対策の充実による働きながらの子育て、保育料の軽減や幼稚園就園奨励費等の助成など子育て世代への支援であります。

また、産業振興策においては、私たちの地域が持つ豊富な地域資源を生かした交流人口の増加による農産物の特産物販売促進、さらには6次産業化の推進や起業家への支援に努め、持続的で魅力ある地域づくりとともに、新たな産業の創出を促進していきます。

### 平成24年

年月日	人口(計)	人口(男)	人口(女)	世帯数
平成24年12月01日	76,687人	38,605人	38,082人	28,595世帯
平成24年11月01日	76,762人	38,646人	38,116人	28,594世帯
平成24年10月01日	76,781人	38,638人	38,143人	28,593世帯
平成24年09月01日	76,821人	38,662人	38,159人	28,587世帯
平成24年08月01日	76,808人	38,632人	38,171人	28,559世帯
平成24年07月01日	76,777人	38,627人	38,150人	28,540世帯
平成24年06月01日	76,846人	38,672人	38,174人	28,542世帯
平成24年05月01日	76,859人	38,676人	38,183人	28,487世帯
平成24年04月01日	76,814人	38,642人	38,172人	28,354世帯
平成24年03月01日	77,048人	38,735人	38,313人	28,380世帯
平成24年02月01日	77,073人	38,743人	38,330人	28,387世帯
平成24年01月01日	77,075人	38,730人	38,345人	28,354世帯

市ホームページで公表している  
大田原市の毎月の人口

働くのまちづくりを目指し、実施しました。子育て環境の充実と徳育及び保護者の負担軽減を図るために、学校給食費の無料化を実施しました。また、保育園から幼稚園への転園政策として、市が費用の一部を負担することや、かねだ保育園の移転新築により、平成26年度から定員を50名増やし、待機児童の解消策を図ります。

安心安全な暮らしが守るまちづくりについては、市民の皆様が、公共交通については民間事業者と競合する路線の調整を行い、新路線の運行及び高齢者等への外出支援を行うため、デマンドバス運行を4月から実施いたします。グリーンツーリズム事業については、農を通じた都市住民との交流を始めとし、大田原市の全ての資源を活用し、総力を挙げて交流施策を推進したいと考えています。今後も市民が安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

## 大田原市重点課題の取り組み成果について

### 一誠会 滝田一郎 議員